

第1回 肝属川水系学識者懇談会 議事概要

日時：平成23年7月26日（火） 13：00～17：00

場所：国土交通省大隅河川国道事務所会議室

出席：（委員）疋田委員、山内委員、坂元委員、四宮委員、丸野委員、鮫島委員、
隈元委員、中山委員、泉委員
（事務局）国土交通省 大隅河川国道事務所

1．設立趣旨、規約、委員長選出について

- ・事務局より「肝属川水系学識者懇談会設立趣旨」について説明を行った。
- ・事務局より「肝属川水系学識者懇談会規約（案）」を説明し、承認されたため、平成23年7月26日より施行することになった。
- ・懇談会規約第5条（委員長）により、疋田委員が委員長に選出された。
- ・懇談会規約第6条（公開）について、事務局より「肝属川水系学識者懇談会に関する公開方法（案）」を説明し、承認された。

2．議事

（1）懇談会での議事予定

- ・事務局より「懇談会での議事予定」について説明を行った。

（2）肝属川の流域の概要及び現状と課題

- ・事務局より「肝属川の流域の概要及び現状と課題」について説明を行った。

（主な意見等）

肝属川では海水はどの地点まで遡るのか？

河口から6.6kmまでが感潮区間となっている。

（3）河川整備（治水）の目標と対策手法検討の考え方

- ・事務局より「河川整備（治水）の目標と対策手法検討の考え方」について説明を行った。

（主な意見等）

目標設定の考え方の中で概ね1/30という説明があったが、この1/30とはどういうことか？

30年に1回起こる確率のある洪水のことである。なお、肝属川では最終的には100年に1回起こる確率のある洪水を目標としているが、整備計画ではその途上段階として30年に1回起こる確率のある洪水を目標としている。

昨年のもみ谷での豪雨災害など過去にみられなかったような災害が発生しているが、局地的な集中豪雨が発生した場合でも河川に急激に負荷がかからないような対策が必要と考えている。

時間の関係で議事はこれくらいにするが、これから行う現地視察を踏まえて、また意見をいただきたい。それを踏まえて、整備計画の本書作成にあたっては、誰でも読んでわかるような内容にするように留意していただきたい。

注) 上記 は委員の意見、 は事務局の発言

3. 現地視察、説明

(1) 高山川(屋治橋付近)

・車中から高山川の高山橋(2k400)～屋治橋(3k000)間を視察し、事務局より高山川の河川環境及び河川利用状況について説明を行った。

(特段の意見なし)

(2) 肝属川鹿屋市街地部(沢尻橋)

・肝属川の沢尻橋付近(16k600)で下車後、下谷川との合流点付近(16k800)まで徒歩で視察し、事務局より下谷川との合流点付近の現状及び河川整備対策手法の検討内容について説明を行った。

(主な意見等)

この区間では、どのような掘り方をするのか。ある川で河床より2m程度掘削したところ、環境が変わってしまった。

詳細については次回の懇談会で提示したいと考えているが、右岸側の寄州の部分掘削し、左岸側のみお筋の河床以下は掘らないように考えている。

(3) 下谷川(鉄道橋)

・下谷川の鉄道橋付近(1k100)で下車後、事務局より昨年度(平成22年度)完成した下谷川改修事業及び川の警告灯の概要について説明を行った。

(特段の意見なし)

(4) 肝属川鹿屋市街地部(水辺プラザ事業)

・車中から肝属川の鹿屋橋(18k700)～山中橋(19k800)間を視察し、事務局より水辺プラザ事業の概要について説明を行った。

(特段の意見なし)

(5) 肝属川上流部(長谷堰)

・車中から肝属川の長谷堰付近(23k600)を視察し、事務局より長谷堰付近を中心とした肝属川上流部の現状及び河川整備対策手法の検討内容について説明を行った。

(特段の意見なし)

(6) 串良川上流部(霧島大橋)

・霧島大橋(串良川9k200)で下車後、事務局より林田堰上流区間を中心とした串良川上流部の現状及び河川整備対策手法の検討内容について説明を行った。

(主な意見等)

当該箇所は河川の蛇行が多いので洪水の流下が阻害され、周辺の田畑や家屋が浸水すると思う。

川をまっすぐにしたら洪水の流れ方はどうなるのか?

当該区間では下流の堰による堰上げの影響と堤防高が低いことにより浸水被害が生じている状況である。下流の堰による堰上げの影響があるため、川をまっすぐにしても洪水の流下能力は向上しない。

(7) 串良川中流部 (岩弘地区)

- ・車中から串良川の昭和堰付近 (5k600) を視察し、事務局より昭和堰上流区間を中心とした串良川中流部の現状及び河川整備対策手法の検討内容について説明を行った。

(特段の意見なし)

(8) 肝属川下流部 (大坪地区)

- ・肝属川の甫木水門付近 (5k400) で下車後、事務局より甫木水門及び大坪地区のシラス堤防強化対策箇所を中心に河川整備対策手法の検討内容について説明を行った。

(主な意見等)

【 甫木水門の改築について 】

水門の横にあるポンプ場 (下小原排水機場) は、内水が貯まった時に吐くためのものか。このポンプ場も新しくするのか？

このポンプ場は、流域の一部ではあるが内水を排除するためのもの (農業用湛水防除施設) である。鹿屋市の管理施設であり、当面は新しくする予定はないと聞いている。

【 大坪地区のシラス堤強化対策箇所について 】

護岸の上に覆土し植生が生えており、環境に配慮されている。

【 甫木水門の機能を説明している看板について 】

この看板は、事務所職員が手書きしたものを使って作成したものである。

手作りの看板は良い。素人でもセオリーがわかっている人が作ると分かりやすくして良い。

このような看板をぜひ増やしてほしい。

(9) 肝属川下流部 (第二有明橋)

- ・肝属川第二有明橋付近 (0k500) で下車後、事務局より肝属川下流部の高潮区間の現状及び河川整備対策手法の検討内容、貴重種を含む多様な生物の生息環境を有する肝属川河口部汽水域の河川環境の状況について説明を行った。

(主な意見等)

イセウキヤガラ (カヤツリグサ科 { 植物 }) が和田川に群生しており、鹿児島県内では、和田川の他に霧島市の国分で 1 箇所確認されるだけである。

注) 上記 は委員の意見、 は事務局の発言